

解 説

主役交代の5月の取引状況について

5月には1年6月限から1年9月限への中心限月の移行があったので、移行の状況にポイントを置いて5月の取引状況をみていくこととする。

1日平均取引高は本年最高

5月の取引高は414,545単位、取引契約金額は14兆2,000億円であり、これを1日平均で見ると、それぞれ20,727単位、7,100億円といずれも本年最高を記録した。前月に比べ取引高で12.5%、取引契約金額で15.3%の増加である。

取引高の推移をみると、昨年12月に1日平均22,223単位を記録したあと、本年に入ってから4月まで毎月20,000単位を下回っており、久方振りの大台乗せとなった。一方取引金額は、現物指数の上昇を受けておおむね増加傾向をみせていたが、5月は立会日数が少ないにもかかわらず、月間合計金額でも本年最高となった。

20,000単位台を超えた建玉残高

建玉残高は4月以降漸増傾向を示していたが、5月に入ると共に20,000単位台を超える日が多くなり、24日には23,408単位を記録し、月末現在は22,647単位であった。TOPIXの月末現在の建玉残高は25,891単位であり、一時約10,000単位あったその差は急速に縮まりつつある。

取引高は12営業日前に移行

取引高の中心限月が、6月限から9月限に移行したのは5月22日であり、取引最終日の12営業日前、建玉残高が5月25日で8営業日前であった。これを前2回の限月移行月と比べると、右上表のとおり、63年11月の場合は取引高が10営業日前、建玉残高が8営業日前であり、1年2月の場合はそれぞれ18営業日前、8営業日前であった。

期近物の取引高比率をみると、5月中の6月限の取引高比率は56.05%と過半数を占めた。これに対し限月移行の早かった2月は29.0%と全体の1/3を割り込んでおり、反対に限月移行の

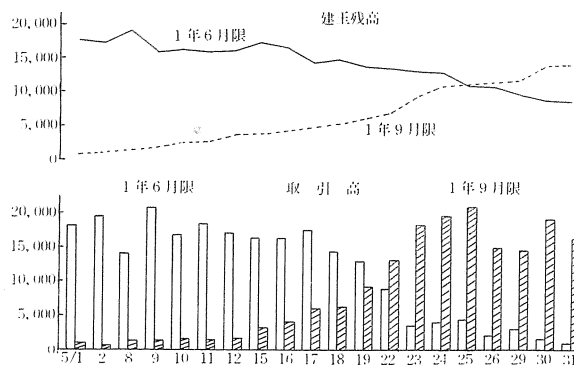
限月移行の状況

		取引売買高		建玉残高	
		移行日	最終日までの営業日数	移行日	最終日までの営業日数
63年12月限	日経225	63.11.25	10日	63.11.28	8日
↓					
1年3月限	TOPIX	63.11.26	9日	63.11.29	7日
↓					
1年3月限	日経225	1.2.9	18日	1.2.23	8日
↓					
1年6月限	TOPIX	1.2.9	18日	1.2.13	16日
↓					
1年6月限	日経225	1.5.22	12日	1.5.25	8日
↓					
1年9月限	TOPIX	1.5.22	2日	1.5.26	7日

遅かった11月の場合は77.8%と圧倒的な比率を占めていた。

前回に比べ限月移行の遅かったのは、相場環境の違いのほか、前回の場合には、取引最終日に対する警戒感が影響したものと考えられる。

なお、6月7日は1年6月限の取引最終日であったが、大引値の最終清算指数に対するかい離幅は-6.89ポイント、最終建玉残高は6,353単位(概数)とおおむね平静な大引であった。



ベースの小さい6月限

6月限のベースは、4月末から縮小傾向にあったが、この傾向は5月に入っても変わらず、2日には-44.99円とはじめて現物指数を下回り、その後も小さいまま推移し、月末には再度マイナスを記録した。

円安の進行、公定歩合の引上げ懸念、政局不安等、市場を取り巻く環境が不透明なことから、ほぼ理論価格に近い所で取引が行われ、上下いずれにも動きにくかったことによると考えられる。

一方9月限については、月間を通じおおむねベースは500台であり先高期待の強いことを示している。

(A.G.)

世界の主要先物商品の中での 日経225先物の位置づけ

各国の主要先物取引所が発表しているデータから各取引所の株価指数先物商品の取引状況を本年1月から4月までの4か月について比較したのが下表である。

ここにみるように取引高(契約高)ではCMEのS&P 500が第1位をしめ、以下大証の日経225、東証のTOPIX、LIFFEのFT-SE 100の順となっている。取引高で見れば、日経225にTOPIXを加えてもS&P 500にはおよばない。

しかし、取引金額ベースで推計すると状況が

かわってくる。取引金額を発表していない取引所が多いので、仮に4月の取引高に4月末現在の指数値と取引単位を乗じ、同月末現在のレートで円換算して比較した。(比較の目的で日経225、TOPIXとも同じ算式を使って金額を算出したため、実際の値とは合致しない。)

その結果は最下欄に示したが、第1位のS&P 500と第2位の日経225との差はごく僅かであり、TOPIXを加えるとCMEのS&P 500を上回っている。

一方、同月末現在の建玉残高ではS&P 500やFT-SE 100に比べ、我が国の商品は取引開始後日が浅いこともあって、未だ厚みに乏しい。

(M. N.)

世界の主要株価指数先物の取引高(1989.1~4)

指数先物	S & P 500	NYSE総合	MMI maxi	FT-SE 100 指 数	NIKKEI 225	日経225先物	TOPIX先物
(取引所)	(CME)	(NYSE)	(CBT)	(LIFFE)	(SIMEX)	(大証)	(東証)
(売買単位)	(500ドル倍)	(500ドル倍)	(250ドル倍)	(25ポンド倍)	(500円倍)	(1,000倍)	(10,000倍)
	単位	単位	単位	単位	単位	単位	単位
1 取 引 高	789,191	128,848	90,444	268,222	65,017	390,142	345,180
月 (1日平均)	(37,580)	(6,135)	(4,306)	(12,772)	(3,096)	(19,507)	(17,259)
月末建玉残	139,535	6,640	6,566	84,556	4,337	15,043	22,693
2 取 引 高	862,299	124,757	82,540	183,508	89,485	310,142	275,484
月 (1日平均)	(45,384)	(6,566)	(4,344)	(9,175)	(4,971)	(16,323)	(14,499)
月末建玉残	135,668	6,033	4,190	67,012	4,739	17,072	28,519
3 取 引 高	1,074,324	155,895	94,450	136,640	99,724	419,890	357,184
月 (1日平均)	(48,832)	(7,086)	(4,293)	(6,506)	(4,532)	(19,086)	(16,236)
月末建玉残	134,158	7,835	5,232	47,542	4,057	17,177	28,707
4 取 引 高	641,588	104,097	75,905	189,446	73,900	368,619	240,916
月 (1日平均)	(32,079)	(5,204)	(3,795)	(9,472)	(3,695)	(18,431)	(12,046)
月末建玉残	136,187	7,828	4,038	71,984	3,276	18,250	26,854
合 取 引 高	3,367,402	513,597	343,339	777,816	328,126	1,488,380	1,218,764
月 (1日平均)	(41,065)	(6,263)	(4,187)	(9,485)	(4,050)	(18,380)	(15,046)
4月中の1日平均取引契約金額	百万円 663,023	百万円 60,139	百万円 60,247	百万円 12	百万円 62,285	百万円 621,370	百万円 299,767

(注) 取引契約金額は株価指数×売買単位×取引高×円換算レートの算式で計算。

為替レートは1ドル=133.50円、1ポンド=227.99円。(4/28 TTSによる。)

日経225オプション取引情報の 伝達について

日経225オプション取引の相場情報は、相場情報伝達システム及びQUICK等の情報企業を通して伝達されます。

このうち情報企業からは現在の指数先物の情報と同種のもの全てが伝達され、利用の便に供

されますが、株価通報回線経由の情報については、本年秋に予定されている東証の新相場報道システムが稼動するまでの間、暫定処理仕様により、約定値段(四本値及び現在値を含む歩み5件)、特別気配値段及び銘柄別取引高(場単位)を取引の中心となる20銘柄に限り送信することとしておりますのでご注意ください。

なお、詳細については当所システム管理課(TEL 06-(229)-8649)にご照会下さい。